

発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 倉中 伸



令和6年度の協会活動と貸金業界に関する関係資料や情報をとりまとめた「年次報告書」をお届けいたします。

昨年度は、長引く物価高騰や円安基調に加え、米国による関税措置交渉の開始などがあり、国内経済の先行きは不透明感を増しましたが、家計や中小企業の経営への影響は現在も続いています。

こうした社会・経済環境の変化は、貸金業界にも影響を与えています。例えば顧客ニーズの変化やデジタル化の進展に伴いさまざまな新業態の参入が見られますし、事業承継問題の深刻化など、貸金業界は様々な変化や課題に直面しています。

一方、資金需要者に目を向けますと、近年インターネット取引やSNSを悪用した詐欺やこれに伴う金融犯罪が巧妙かつ複雑化しており、若年層やシニア層を中心に被害が後を絶たない状況となっています。

本協会は、本分である貸金業者に向けた自主規制機関としての活動に加え、2年前より消費者向貸付大手4社との協働事業として、金融リテラシー向上コンソーシアムの活動を開始しています。「お金でつまづかない教育」をキャッチフレーズにした本活動は、金融トラブルを回避するための教育・啓発活動をメインに目下全国の学校、職域に向けた活動を展開しております。

このように、様々な変化や課題の中にある貸金業界ですが、本協会としましては、設立の精神である「貸金業界が健全な資金を供給することにより国民経済の発展に貢献し、さらに社会から信頼される業界となる」ことに貢献するべく、引き続き活動してまいります。

なお、本報告書には、先般本協会が実施した各種調査の結果等を掲載しておりますので、ご意見、ご感想をお待ちしております。

みなさまにおかれましては、本報告書をご高覧いただき、本協会の活動や貸金業界に対するご理解を深めていただく機会としていただければ幸いです。

今後とも、本協会に対するご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。